

南高創立百周年記念

「百花斉放」

新たな伝統の始まり



11/9

尾崎英雄さん

南宇和高等学校体育館で、全校生徒716名及び来賓、一般関係者、多数の方が出席して「創立百周年記念式典」が盛大に挙行されました。式典では、河野敏校長が「創立百周年という節目の年に巡り合わせ、歴史や伝統を回顧する機会を与えられたことに感謝し、今後、地域との連携や協力関係を深めながら、創立百周年のテーマである「百花斉放」の精神で、新たな伝統を築いていきたいと思えます」と式辞を述べました。また、谷口町長が「世紀にわたり、南宇和郡唯一の最高学府として、幾多の優れた人材を輩出されてきたことに對し、心から敬意と感謝を申し上げます。今後、勉学やスポーツ、ボランティア活動等、地域社会に活力を与える存在となる地域愛に満ちた人材育成に邁進してください」と祝辞を述べました。

その他、明治40年、南宇和郡立水産農学校として産声を上げた同校の変遷、野球部の春・夏の甲子園大会出場、サッカー部の全国高校サッカー選手権大会優勝（平成2年）等、輝かしい運動部の栄光の数々等を振り返るVTRの上映があり、とても懐かしい映像に心とお一時となりました。同時に「南宇和」という一体感を改めて感じる機会となりました。その他、記念事業として、グラウンドの夜間照明設備、テニス（オムニ）コート整備、楽器購入、図書館電子システム、記念誌の発行等が実施されました。

10日には、株式会社フジ代表取締役社長の尾崎英雄さんの「地域のために、人々のために、流通フジがめざすもの」と題した記念講演会が行われ、その中で尾崎さんは「流通業は、暮らしの中で必要な物を届けるという重要な役割を担っています。今後も、企業として成長を続けるため、暮らしを豊かにする新しい価値の提案等、消費者に安全なブランドとして認知していただけるよう努力していきたい」と話され、競争社会で生き残る企業経営の厳しさ等、示唆に富んだ内容でした。在校生も、社会の厳しさや楽しさを学ぶとともに、勤労意欲の高揚につながったことと思います。

素敵な吹奏楽部！

11/10



御荘文化センターで、南宇和高等学校吹奏楽部による「創立百周年記念コンサート」が午後・夜間の2回開催され、1,000名を超える南高吹奏楽部ファンが詰め掛けました。

同コンサートでは、俳優の折形浩人さんの小気味よい進行で、プロの演奏家「ヴィーヴ！サクソフオーンクワルテット」の演奏、吹奏楽部のエネルギー溢る演奏等、部員の情熱が伝わる感動的なステージでした。また、80名のOB（元男子部員）やOG（元女子部員）の方々が演奏に加え、裏方としても大活躍で、世代を越えた部員のつながり、温かさを感じました。